

飛島クリーンアップ15年の成果と展望

最上川故里ミュージアム 今野 吉一

地球環境破壊のきわだった現況は、私たちの生活の地・小さな小島とびしまに季節を問わず押しよせ海ゴミの集積地と化した。しかし酒田のNPOや市民グループの立ちあがりにより島ぐるみの奮闘15年で西海岸（田下海岸^{たのしり}）は美しい浜辺としてよみがえった。その成果と教訓として、旅客船「とびしま丸」客席背もたれ全席におかれたカードケースのよびかけをしっかりと共有しよう！

海ゴミ問題は県民一人ひとりの解決すべきテーマです。ポスターでのとびしま全島マップで明らかにしたように、島内には⑫の海岸があります。①筆の浜 ②ゴドロ浜 ③オバフトコロの浜 ④ミヤダ浜 ⑤田下海岸 ⑥袖の浜 ⑦オボゲの浜 ⑧マノシレの浜 ⑨鼻戸の浜 ⑩クキの浜 ⑪鴨の浜 そして⑫小松浜 です。

5月から10月にかけて、主に夏場に多くのボランティアの参加で、島内の浜に集積している漂着ゴミを一掃しましょう。

清掃活動に参加しよう！

飛島では2001年から毎年5月の最終土曜日に飛島クリーンアップ作戦を行っています。行政、企業、民間団体、大学が協働で行なってきた清掃活動により、西海岸が見違えるようきれいになりました。

ただ、冬期間に漂着するゴミが無くなったわけではないので、清潔度を保つ取組みが継続的に必要です。

飛島区域図



2011年に行われた飛島クリーンアップ作戦の様子